

令和2年度 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 成果報告会

開催日 1日目：令和3年3月 1日（月）13:00～16:00

2日目：令和3年3月10日（水）13:00～16:30

会場 オンライン形式

プログラムのご案内

【1日目】

13:00	開会・挨拶 有林 浩二（文部科学省研究開発局研究開発戦略官付放射性廃棄物企画室長） 寺井 隆幸（東京大学名誉教授／本事業プログラムオフィサー）
13:10	高レベル放射性廃液ガラス固化体の高品質・減容化のための白金族元素高収着能を有するシアノ基架橋型配位高分子材料の開発 尾上 順（名古屋大学）
13:35	ヨウ素の化学状態に基づく廃炉及びDOEサイトの修復に向けた廃棄物安定化処理法の開発 大貫 敏彦（東京工業大学）
	休憩（5分）
14:05	マルチフェーズ型研究教育による分析技術者人材育成と廃炉措置を支援加速する難分析核種の即応的計測法の実用化に関する研究開発 高貝 慶隆（福島大学）
14:30	福島第一原子力発電所の燃料デブリ分析・廃炉技術に関わる研究・人材育成 安濃田 良成（福井大学） 代理：宇埜氏（福井大）
	休憩（5分）
15:00	高線量率環境下における小型半導体を用いたバーチャルピンホールカメラの開発 鳥居 建男（日本原子力研究開発機構）
15:25	放射線環境下での腐食データベースの構築 加治 芳行（日本原子力研究開発機構）
15:50	まとめ・閉会 小山 正史（電力中央研究所首席研究員／本事業プログラムオフィサー）

※1 課題あたり25分（説明20分、質疑応答5分）

※説明者の所属は課題終了時となります

【2日目】

13:00	開会 阿部 豊（筑波大学副学長・教授／本事業プログラムオフィサー）
13:10	実験と数理科学の融合による高度マイクロ核種分析システムの創製 塚原 剛彦（東京工業大学）
13:35	放射性物質によるコンクリート汚染の機構解明と汚染分布推定に関する研究 丸山 一平（名古屋大学）
	休憩（5分）
14:05	可搬型加速器×線源・中性子源によるその場燃料デブリ元素分析および地球統計学手法を用いた迅速な燃料デブリ性状分布の推定手法の開発 上坂 充（東京大学） 代理：芝氏（原子力機構）
14:30	燃料デブリ取り出しを容易にするゲル状充填材の開発 牟田 浩明（大阪大学）
	休憩（5分）
15:00	福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム 東畑 郁生（地盤工学会） 代理：小峯氏（早大）
15:25	廃炉に関する基盤研究を通じた創造的人材育成プログラム-高専間ネットワークを活用した福島からの学際的なチャレンジ- 青柳 克弘（福島工業高等専門学校）
	休憩（5分）
15:55	放射線影響モデル動物を利用した生物影響解明のための多元的アプローチ 三浦 富智（弘前大学）
16:20	まとめ・閉会 山本 章夫（名古屋大学教授／本事業プログラムオフィサー）

※1 課題あたり 25 分（説明 20 分、質疑応答 5 分）

※説明者の所属は課題終了時となります